

## 編集後記

デジタル文書の作成や画像の加工をし、本誌のような同人誌を編集・発行するためには、パソコンやプリンターを必要とし、活用しているのですが、今般それらが不調になり、だいぶ悩まされた。結局、修理をあきらめ、買い替えた。新しいものは、使いこなすのに容易でなく、慣れるまで時間がかかるものです。セキュリティの設定などが複雑すぎる。セキュリティがいい加減な古いものが懐かしい。ワイヤレス接続も便利で使用しているが、ややこしい。(T.O)

### 「お知らせ」

- ・新会員を募集しています。お問い合わせは事務局へ。
  - ・ホームページについては、以下のサイト、  
<http://minasebungei.web.fc2.com>  
を訪問してください。
  - ・ホームページの検索は『みなせ文芸』で可能です。
- 第47号からのバックナンバーをこちらで読めるようにしています。

「会員へ」 本号の合評・懇談会は2月下旬を予定しています。詳細は別紙・会合の案内を参照してください。また、今後に掲載しようとする原稿は、以下に示します締切日までに「ご用意下さい」。

### 「次号の予定」

原稿締切日	発行予定日
94号	2022年3月25日
	2022年5月1日

### みなせ 第93号

発行日 2022年2月1日発行

発行者 みなせ文芸の会

<http://minasebungei.web.fc2.com/minase.html>

編集／事務局 岡森 利幸

〒257-0013 秦野市南が丘5-3-16

Tel/Fax 0463-83-0279

e-mail t-okamori@lala.to

製本 社会福祉法人 貴峯 貴峯荘ワークピア

〒254-0064 平塚市達上ヶ丘1-9

表紙画像について…… 盛丘 由樹年

「藤野・弁天橋」神奈川県相模原市緑区 2021年

5月4日撮影

5月4日、私はJR藤野駅に降り立った。初夏の明るさにあふれ、風も穏やかで、ハイキングにちょうどよい日だった。藤野地区の南側、山間に点在する野外彫刻を見て回るのが、この日の主な目的だった。

西に行けば、甲州街道に沿って約2キロ先は、山梨県だ。でも、私は弁天橋（心斎橋ではない）を渡って南へ歩く。歩き始めてまもなく、橋を渡った。

これはモダンな構造の橋だ。橋の上で前方に二人のハイカーらしい女性が歩いていたので、シャッターを切った。人物を入れると、橋の大きさがわかりやすいので、ちょうどよい。鉄製アーチの黒い影が路面についている。くねったパターンがおもしろい。

橋の下は、この写真ではほとんど見えていないが、緑色の水面が広がる相模湖だ。ずっと下流にあるダムによつて出現した人造湖（1947年完成）だ。この辺では、大きな川のように、山間に細長く伸びている橋から見下ろすと、バス釣りのボートがいくつも見える。

#### 「みなせ」文芸の会要項

##### 1 会員制

入会の資格等は、特にありません。執筆掲載希望の方、および購読希望の方であれば、どなたでもいつでも入退会できます。

##### 2 年間会費

入会時と年次に千円を事務局に納入願います。（懇談会の席で、直接納入でも可）

##### 3 掲載負担金（一頁、原稿約2.5枚につき）

電子文書 400～500円（発行時にかかった費用により確定）

手書き原稿も可能ですが、電子文書の±100円高となります。

##### 4 掲載内容

小説、評論、随筆、詩歌など文芸作品に限りません。

##### 5 年4回発行（季刊）

発行の数週間後に、合評・懇談会を主に神奈川県内で開催します。

##### 6 問い合わせは事務局まで、奥付参照。